

みでんか

まつさか市議会だより

vol.79
2020.3.1

マジメで
面白くない
報告ですが...

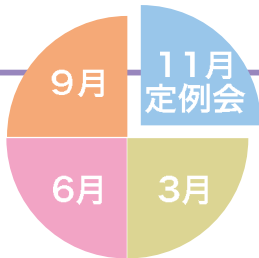
「みでんか」は電子
ブックやPDFでも
ご覧いただけます。



— CONTENTS —

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 2 | 6 | 15 | 19 |
| ペー | ペー | ペー | ペー |
| ジ | ジ | ジ | ジ |
| 11 | 一 | 行 | み |
| 月 | 般 | 政 | で |
| 定 | 質 | 視 | ん |
| 例 | 問 | 察 | か |
| 会 | | | は |
| の | | | 次 |
| 主 | | | 号 |
| な | | | で |
| 議 | | | 6 |
| 案 | | | 年 |
| | | | 目 |
| | | | を |
| | | | 迎 |
| | | | え |
| | | | ま |
| | | | す。 |





令和元年度松阪市一般会計補正予算 (第4号) など25議案を可決・同意

令和元年11月定例会は、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開かれました。一般質問は12月5日、9日、11日の3日間、17人の議員により行われ、最終日には議案3件、発議4件が追加上程され、議案25件、請願1件、発議1件が討論・採決され、議案および発議は原案どおり可決、請願については、不採択となりました。



11月定例会で主な賛成・反対討論のあった議案等について

議案 第128号 副市長の選任について

- Q** 副市長の2人制に関して、外部起用によって幅広い見識を求める意義も2人制にあったと思うが、現状市役所出身者が2人を占めるようになった。その現状についてどう思うか。
- A** 市役所の仕事は多岐にわたる業務であり、今回の副市長の選任にあたり、事務、技術と市役所の中で違う分野を歩んできた職員を登用することにより内部の仕事がスムーズにはかどっている。トップセールスで様々なところへ出かけて松阪市のPRであるとか、さまざまな誘致について仕事をする中で、内部が固まらなるといった仕事ができない。今の体制は非常に重要である。

賛成多数
同意



▲山路副市長



請願 第9号

生活保護受給権の侵害がないか 実態把握を求める請願

請願内容

- 市議会として、松阪市が、生活保護申請者に対し、不適正に、保護申請の辞退を勧めたり、「保護辞退届」を書かせている実態はないか、調査のうえ、結果を公表すること。
- 市議会として、三重県知事に対し、生活保護法第23条に基づき、松阪市が同法施行に関する事務を適正に行っているかを事務監査するよう求めること。

採択に 賛成 3
反対 24

賛成少数
不採択

竹上市長に 第13回 議会報告会 の報告を行いました!!



広報広聴委員長はじめ正副議長は、昨年秋に開催した第13回議会報告会について竹上市長を訪れ、結果の報告を行いました。

今回初めて委員会別で開催したことにより、若い世代の参加が前回より上回ったことや、より市民の方との意見交換が行いやすいようにワークショップ形式を取り入れたことで、意見交換会が充実したことなどをお伝えしました。

今後も松阪市議会として、より市民の方の声を聞くための工夫を行い、議会報告会を行っていきます。



議決結果一覧と各議員の賛否

議案番号	案 件	審議結果
議案第 109号	令和元年度松阪市一般会計補正予算(第4号)	全会一致 可決
議案第 110号	令和元年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致 可決
議案第 111号	令和元年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決
議案第 112号	令和元年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決
議案第 113号	令和元年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決
議案第 114号	令和元年度松阪市水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致 可決
議案第 115号	令和元年度松阪市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致 可決
議案第 116号	令和元年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算(第2号)	全会一致 可決
議案第 117号	松阪市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	全会一致 可決
議案第 118号	松阪市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	全会一致 可決
議案第 119号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全会一致 可決
議案第 120号	松阪市職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致 可決
議案第 121号	財産の無償譲渡について	全会一致 可決
議案第 122号	財産の無償譲渡について	全会一致 可決
議案第 123号	字の区域の変更について	全会一致 可決
議案第 124号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について (松阪市中心市街地活性化複合施設)	賛成多数 可決
議案第 125号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について (松阪市飯高グリーンライフ山林舎)	全会一致 可決



議案番号	案 件	審議結果
議案第 126号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について (松阪市リバーサイド茶舎)	全会一致 可決
議案第 127号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について (松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設)	全会一致 可決
議案第 128号	副市長の選任について	賛成多数 同意
議案第 129号	教育委員会委員の任命について	全会一致 同意
議案第 130号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致 同意
議案第 131号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致 同意
議案第 132号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致 同意
議案第 133号	公平委員会委員の選任について	全会一致 同意
請願第 9号	生活保護受給権の侵害がないか実態把握を求める請願	賛成少数不採択
発議第 15号	市議会議員の派遣について	全会一致 可決

表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号	真政クラブ				松政会				公明党		日本共産党		市民クラブ		無所属の会・みらい		しなと会		会派に所属しない議員							
	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	山本 芳敬	中村 誠	松本 一孝	谷口 聖	市野 幸男	米倉 芳周	松岡 恒雄	山本 友志	殿村 峻代	栗谷建一郎	久松 倫生	橘 大介	楠谷さゆり	中島 清晴	西口 真理	海住 恒幸	赤塚かおり	深田 龍	植松 泰之	沖 良哉	中村 和子	濱口 高志	
議案第 124号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 128号	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
請願第 9号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×

議長 大平勇は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員。



一般質問

12月5日・9日・11日に17人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

令和元年11月第5回定例会 一般質問日程表

12月5日(木)	①橋 大介 ③海住 恒幸 ⑤山本 節	②中村 良子 ④殿村 峰代 ⑥楠谷 さゆり
12月9日(月)	①深田 龍 ③松本 一孝 ⑤谷口 聖	②久松 倫生 ④沖 和哉 ⑥濱口 高志
12月11日(水)	①中村 誠 ③西口 真理 ⑤栗谷 建一郎	②市野 幸男 ④田中 正浩

質問時間は、1人50分。(答弁時間を含む)
総括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものを掲載しています。

※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。(別途通信料が発生します)



市民クラブ
たちばな だいすけ
橋 大介 議員

外国人児童生徒への対応は どうなっているのか

Q 市内の学校に在籍する外国籍児童生徒数は。

A 令和元年5月1日の調査では、小学校19校、中学校7校に333人在籍している。5年前の262人の約1.3倍となっている。

Q 外国籍児童生徒の学校の様子は。

A とともに学校生活を送る大切な仲間として、自然に関わりを持っている。これは、ある中学校の例であるが、フィリピン国籍の生徒が自ら進んで生徒会役員に立候補し、学校をよりよくしようと、自分の思いを立会演説会で全校生徒に訴えたと言っている。演説会では、日本語と、母語であるタガログ語の両方で演説し、演説後には会場全体が拍手に包まれ、聞いていた教員も大きく感動したと報告を受けている。

Q 母語スタッフの人数は推移しているか。

A 母語スタッフの人数の推移は平成27年度から30年度まででは11人。タガログ語の母語スタッフを増員し、合わせて12人となっている状況。

Q 1人増ということだが、今後外国籍の子どもが増加する中で、母語スタッフの人数はどうしていくのか。

A 母語スタッフの存在は必要不可欠。外国の子どもたちが安心して学校生活を送り、夢を育めるよう取り組みを進めていきたいと考えている。

会派に所属
しない議員
なかがむら よしこ
中村 良子 議員

松阪市社会福祉協議会の将来への展望

Q 松阪市施設指定管理の中で、施設管理費用と光熱水費等の按分はどうか。

A 社会福祉協議会の目的外使用について、ハートフル三雲保健福祉センターは652.92㎡の使用料255万9,100円を、飯南高齢者・障がい者福祉施設ふれあいセンターでは33万4,000円を、飯南および飯南の高齢者生活福祉センターでは124万4,900円と64万4,000円を徴収している。光熱水費の電気料金は面積按分、水道・ガス料金は職員の数按分としている。今年度の指定管理期間更新でも精査を行っている。

Q 年をとって地域で住めなくなる心配がある。社協は住民福祉活動で人間関係を構築していける重要な団体である。指定管理の職員が福祉活動で忙しい様子だ。

松阪市社会福祉協議会補助金要綱の補助内容は事業の中身で按分されているのか。公益事業、収益事業がはっきりする契約制度にし、払うべきものは払う関係改革はどうか。

A 社会福祉協議会の109条に基づく地域福祉等の活動の人件費相当分35人分を補助し、明確に分離している。

松阪市社会福祉協議会補助金交付要綱

(目的外使用等)
第4条 協会の目的と異なる事業(以下「目的外事業」という。)は、本協会の目的と異なるものとする。ただし、公益事業、収益事業、指定管理の事業に属しない活動については、規定の範囲とする。

(1) 運営費補助、事業費及び学校給食の交付、児童養護、社会福祉、福祉教育、福祉サービス、高齢者生活支援及び障害者支援に関する事業

(2) ボランティア活動補助、地域福祉ボランティア活動の支援に関する事業

(3) 福祉施設・団体の運営補助

(4) 福祉施設及び児童養護施設、児童福祉施設に関する事業

(5) 社会福祉センター運営費補助、社会福祉センターの運営費に充てる事業

(6) 社会福祉の活動費、社会福祉の活動に充てる事業

▲松阪市社会福祉協議会補助金交付要綱の抜粋

無所属の会・
みらい
かいじゅう つおゆき
海住 恒幸 議員

市民病院の在り方検討、 なぜ3病院長協議をしないのか

Q 平成29年度松阪市民病院の在り方検討委員会の答申の中心命題は3基幹病院の協議である。その協議をまったくしなかった理由を端的にお答えいただきたい。

A 3基幹病院を中心とした議論はいずれ必要になってくるとは考えている。

Q 年度内に県に提言を出すと言って、3基幹病院との協議を足掛け2年間、1回もしていないのにどうやって提言をまとめるのか。

A 12月16日の「在り方」検討委員会でも議論を深めていただけるよう準備に取り組んでいる。

Q 29年度からの検討課題を全然検討していないのに責任を持てる内容になるか。

A 県や国のいろいろな動きがあって、今の状態となっている。

Q 県、国から出てくるものをいつも待っている。自分たちでできることがあるのに何も議論をこなかった。自分たちが市民病院をどうしたいのか、自分たちが真摯にすべきことはあっただろう。それで、年度末に提言書だけ出すというのはあまりに無責任。厚労省が言う地域医療構想ではなく、自分たちの経験と知恵で作っていく地域医療体制を構築するための機会をいろいろな言い訳で放棄している。その点についてどう思うか。

A 全部、わたしたちで決められるというものではない。



日本共産党



のむら みおよ
殿村 峰代 議員



公明党



やまもと たかし
山本 節 議員



市民クラブ



くすたに
楠谷 さゆり 議員



しなと会



ふかた りゅう
深田 龍 議員

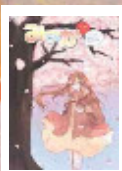


「高齢者虐待」

松阪市の対応は。

- Q 松阪市において高齢者虐待の事実は。
- A 養護者による虐待件数は平成27年30件、平成28年19件、平成29年35件、平成30年17件。介護事業所は平成27年0件、平成28年1件、平成29年3件、平成30年7件である。
- Q 虐待対応マニュアルなどの整備は。
- A 介護施設では7割弱である。
- Q 整備率が十分でないが、どのように指導するか。介護現場での専門的な人材の資質向上と支援体制は。
- A 日常的な事業所との関わりの中で整備率を上げ、各事業所の指導的立場に対する啓発や高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク連絡協議会として、48機関の代表者が虐待予防の取り組み、事例について対応策の検討をしている。また介護相談員の活用で情報の共有に努めている。
- Q 虐待解決の一助、「成年後見制度」の利用促進の計画は。
- A 現在利用が173件。大変重い課題。関係機関との連携で今後、推進していきたい。
- Q 地域包括ケアシステムを構築することが虐待をなくすことに繋がると考えるが。
- A 国に対して働き方改革の制度改正の要求、さらに認知症の課題もさらに検討していきたい。

その他の質問事項 ・ 中部台運動公園等の除草剤の使用



避難所運営

- Q 日常時と非常時という2つのフェーズをフリーにするフェーズフリーな社会を防災計画や避難所運営マニュアルに組み込む考え方を根本に、備蓄品を選定し、かつ、公共的だけではなく、自助・共助にも組み入れていけるよう啓発活動をすべきだが。
- A 今後、防災出前講座、地域の防災訓練の中で、更なる周知をしていきたい。
- Q 車中泊、テント泊、ボランティア活動をするために、公園のあすまやを拠点に使えるという想定に入れていただければ。
- A 車中泊、一時的な物資の配布拠点にもなり、今後は研究材料として考えてまいりたい。今後、既存施設の活用については調査対象としていきたい。
- Q 避難所開設キット。スムーズに開所ができるようキットを配備する考えは。
- A 避難所の開設のあり方、また開設キット等についても、今後のこの基本モデルの作成検討の中の議題として取り組んでいきたい。



▲避難所開設キット

その他の質問事項 ・ 防犯
・ 交通安全対策
・ 三渡橋のその後

みえ松阪マラソン

12月20日まであと1年

- Q 募集定員7,000人の内、宿泊を何割と見込んでいるのか。宿泊施設については、どう考えているのか。
- A 3,000人程度と考える。駅周辺で1,000人が宿泊可能。松阪市近隣の施設も協力いただく。
- Q 事業全体の予算は、2億1,000万から、1億4,000万円かと思うが、協賛金の目標は。
- A 具体的な数字は差し控える。

障害者の就労支援に関して

- Q 就労継続支援B型事業所に交通費を自分で払って通勤している人は何人か。
- A 利用者は407人。公共交通機関を利用しての通勤者数は把握していない。
- Q 三重県立松阪あゆみ特別支援学校の昨年の卒業生では1人。交通費が出ないから諦めている人もいるかもしれない。鈴鹿市や四日市市は補助制度がある。松阪市でも考えてもらえたら、選択肢が広がる。社会参加、自立支援という観点から良い支援だと思うが。
- A 直接的な制度は存在しないし、松阪市の場合は支援の対象外。サービスの公平性を担保しつつ、研究、支援する。

その他の質問事項 ・ 多文化共生社会の実現に向けて松阪市は何を始めるのか

放課後児童クラブの

支援員研修の拡充を！

- Q 県の開催する研修会について、近隣県や他府県の様子はどうか。
- A 愛知県や岐阜県は三重県と同様に年1回の開催。大阪府では年9回、兵庫県では年11回など複数回の研修を行っている。
- Q 市長からも県が開催する研修会の増数を図れるようかけ合っていたらと思うが、いかがか。
- A 今の支援員不足の状況からすると、研修回数は少ないと思っている。知事要望や地元県議との懇談会を通じて、県へ要望したい。

新学習指導要領に出てくる

「プログラミング教育」の現状は？

- Q 松阪市において「プログラミング教育」はどのような状況なのか。
- A 東黒部小学校をモデル校に指定して、情報教育については先進的などところもある。教職員への研修支援も必要と考え、指導主事を派遣したり、研修会を開催したりして支援している。



日本共産党



ひさまつ みちお
久松 倫生 議員



松政会



まつもと かずたか
松本 一孝 議員



会派に所属
しない議員



おと かずや
沖 和哉 議員



松政会



たにくち きよし
谷口 聖 議員



オスプレイの常駐化には反対

- Q またオスプレイが飛来した。どんな対応をしてきたか、されるつもりか。
- A 明野駐屯地の常駐化となれば話が違う。市民の安全安心が確保されない状況ならば反対していく。

今後も水道料金の引き下げ要望を 続けていく

- Q 県営水道の受水費が今回は南勢水道が据え置き、中勢水道が少し引き下げになったが、市長の見解は。
- A 南勢水道が引き下げにならず残念。苦渋の選択だが受けざるを得なかった。三重県の一般会計へ40億円の長期貸付のそんな金があるんなら下げてくれというのが一貫した主張。今後引き下げについて要望していこうと思っている。

大規模災害の教訓を 予算編成に生かして

- Q 想定外の災害からの教訓をどうとらえるか。防災計画の新たな課題は。
- A 大規模停電への懸念と早期避難の重要性がある。平時からの情報交換、顔の見える関係づくりが早期対応につながる。
- Q 政策提起とか人的配置とか、今後の予算編成に生かしていただきたい。
- A 既にそういったところへかじを切っている。人的被害ゼロに向けて重点的に取り組んでいきたい。

過疎地域に関すること

- Q 過疎地域の問題点と課題は何か。また、現在どのような対策や施策をしているか。
- A 問題は、人口減少と著しい高齢化、基幹産業の不審、雇用の場の不足、生活交通の不足、耕作放棄地の増加、就学機能の維持困難など。課題は、観光と交流人口、移住定住人口の増加など。対策や施策は、空家バンク事業、田舎暮らし交流・移住促進事業、過疎地域魅力アップ整備事業などがある。
- Q 今後、これらの地域では、既存の事業の継続と同時に新たなものを考えていかなければならないと思う。例えば、自然の中に人工的な付加価値をつける、歴史文化で広域にわたるものは、近隣の自治体との連携、さらに活性化させるためには地域を一つのテーマパークと考え、話題性のあるイレギュラーな考えと投資が必要と考えるか。

- A 地域にある魅力、自然景観であるとか歴史や文化など地域の皆さんと一緒に考えながら活性化する手だてを講じて行きたいと思っている。

その他の
質問事項

- ・国旗掲揚に関すること
- ・スケートパークに関すること

赤ちゃんのための災害対策。 早急に液体ミルクの備蓄を！

- Q 食糧備蓄の粉ミルク3,500回分では全然足りないし、防災直後はお湯も沸かすににくい。内閣府はライフラインが断絶されても授乳できる液体ミルクや、使い捨て哺乳瓶の備蓄を進めるよう通知している。松阪市も液体ミルクへの切り替えを早急に検討すべきでは。
- A 消費期限とフードロスの観点から懸念しており、調査研究していきたい。
- 意見 保育園等の普段育児用ミルクを使う場所で多めに配備して液体ミルクを導入していけば、無駄は出ないという事例もある。研究を前に進めてほしい。

学校のICT化、待たなし！ 全国をリードする気概を持つべき！

- Q ICT整備において、国は3人に1台のタブレットやPCの導入を目標としているが、全国平均は1台につき5.4人。松阪市はどういう状況か。
- A 小学校で5.3人に1台。中学校は三雲中等等の3校に1人1台配備している関係もあり、2.5人に1台。使用クラスが重ならないよう工夫している。
- 意見 全国と一緒にではだめ。本来その工夫は授業や支援内容にかけるべき。三雲中学の知恵と経験の蓄積を生かし、ICT機器の整備をしっかりと進めてほしい。

その他の
質問事項

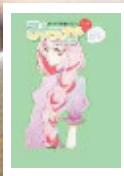
- ・男性職員の育児休暇推進

みえ松阪マラソンに関すること

- Q 必要とされるボランティアの総数は。
- A 当日だけで約3千人以上のボランティアスタッフが必要となる。
- Q 資金面として、現時点での協賛金は。
- A 市長自ら各企業を訪問し、大会趣旨や経済効果などを説明しスポーツと連動したまちづくりを進めていくための大会にしたいと県内、県外の企業に協力を求めている。
- Q ホームページに祭を併せて開催するところがあるが、どのような祭りなのか。
- A 松阪市総合運動公園に、松阪牛や特産ブースを設置し、ランナーやその家族、大会に関わる人たちが楽しんでもらえるような祭会場を検討している。
- Q 計画で参加人数は7千人とあるが。
- A スタート会場や、コースのキャパシティ、あるいは三重陸上競技協会や松阪警察署と協議し、参加人数を決定していく。
- Q 沢山の方々が、より良い大会にしたいと願っている、大会開催に向けて市長の思いは。
- A 松阪マラソンに関して、1日で松阪に来ていただく人の数として最大のものになる。ボランティアやランナーの募集も始まる、タイトなスケジュールになるが、ずっと続けられる大会にしたい。

その他の
質問事項

- ・放課後児童クラブ



会派に所属
しない議員
はまぐち たかし
濱口 高志 議員



松政会
なかむら まこと
中村 誠 議員



松政会
いちの ゆきお
市野 幸男 議員



無所属の会・
みらい
にしぐち まり
西口 真理 議員



ジョブローテーション

- Q 事務系職員の場合、定年退職するまで何部署経験するのか。
- A 10部署程度が平均。
- Q 地方行政の根幹にかかわる税務の経験者は現在何人いるのか。
- A 市民税を経験した職員は、旧4町を除いて105人いる。
- 意見 税務経験者が105人もいるのに、「振興局での確定申告をするには人の手配ができない」という答弁は疑問。

焼肉タウン構想

- Q 多気町のヴィゾンではサンセバスチャン通りをつくり、スペインの有名レストランなどを50店舗出店し、年間800万人の来場者を見込んでいる。
- 松阪には牛、鳥、豚がそろっているが点在しており観光的な魅力が少ない。食の集積についての市長の考えは。
- A 「豪商のまち」中心市街地土地利用計画の策定時には、焼肉タウンについて事業者の賛同を得られなかった。
- しかしある程度1カ所に固まっているほうが観光客に利便性が高いので、引き続き働きかけたい。

その他の質問事項
・ふるさと納税の自動販売機
・三雲公民館、および跡地利用



学校のプールセンター化できない地域は？

- Q 築40年以上、50年以上経っているプールに対して、一斉に大規模修繕を行っていくのか。はたまた頻度に合わせて改修・改築を区別していくのか。
- A 必要な場合には最終的に改修を行った、改築を行ったり。やっぱり学習環境というのは大切なことで、長寿命化を図るとか、民間施設の活用を図るとか、子どもたちが例えば5月から11月の間に水泳ができるとか、いろんな多様な面から考えながら、まずは民間施設の活用、集約化、そして必要な改修改築を行っていく。

有害鳥獣等の対策 猿捕獲状況

- Q 山間地域における猿被害の対応策は、今現在どのようにとられているか。
- A 近年、箱わな、くくりわなが相当効果を上げているので、この対策を最優先として引き続き取り組んでいきたいと考えている。
- また、猿の動きに応じて移設ができるおりを活用した対策にも、大石の例のように取り組んでいきたい。

その他の質問事項
・業務委託における最低制限価格

災害に対する松阪市の備え

- Q 県管理河川浚渫は、県と市の間で協議は進められているのか。
- A 県と市の合同巡視点検を行い、河川の現状を把握している。
- Q 浚渫した土砂を積む用地をみつけるために、計画や実際に動いている実績があるのか、今後の対応は。
- A 県のホームページで建設残土の民間受け入れ地の募集や、要望をいただいた自治会の中で受け入れ地可能な土地があれば、紹介をお願いしている。効果的な堆積土砂の撤去が可能となるよう研究をしていきたい。
- Q 行政無線の聞き逃しの際のテレホンサービス電話番号の周知ステッカーか、もしくはチラシを作成し、全戸に配布したらどうか。
- A 広報まつさかの周知方法を含め、より効果のある周知方法の検討をしていきたい。

指定無形民俗文化財の活性化と維持

- Q 現在の市の支援や取り組みは。
- A 指定無形民俗文化財は19団体あるが交付を希望する14団体に補助金交付しており無形民俗文化展を年一回行っている。
- Q 一堂に演じるイベントの考えは。
- A 調査研究を進めていきたい。

高額過ぎる！？ 委託料

- Q 休日夜間応急診療所の松阪地区医師会への委託料が平成30年度856万2千円。ここ数年大幅に跳ね上がっている。増額されている理由は。
- A 平成28年の増額は体制強化マネジメントとして、29年は深夜帯の創設、令和元年は特別診療室に係る委託である。

【一次救急医療体制事業委託費】
(休日・夜間における一次救急医療委託…松阪地区医師会、松阪地区薬剤師会へ) +210 +250 +60

	H22~25	H26	H27	H28	H29	H30	R1(予定)
医師会	340.2	396.2	396.2	606.2	856.2	856.2	916.2
薬剤師会	150	150	150	150	200	200	200

(単位:万円)

- Q 毎日の夜と日・祝日の昼間、同じような診療をされている他市は300万円台位。深夜帯の委託費250万円を引いても松阪市は高額な委託費。疑問に思う。
- A 一概に比較はできないと考える。
- Q 医師への報償費が、深夜帯6時間で12万4,800円、時間単価2万800円。平日夜、休日昼間も調べた限り他市と比べて高額な料金が支払われている。
- A 休日夜間応急診療所の運営を365日円滑に行っていただく業務として必要な経費と考えている。
- 意見 客観的に数字を見ると、委託費、報償費、他市よりかなり高額。それが適当なのか精査、検討をし直す必要がある。

その他の質問事項
・健康寿命を延すための介護予防事業等、高齢者施策の充実を





小中学校のエアコン整備事業

- Q エアコン整備事業の材料費が市内のホームセンターで買う10倍以上の単価になっているがどうか。
- A 公共工事建設単価を用いて設計しており妥当であると考えている。
- Q 避難所である小中学校にガスエアコン設置されたが、地震の時にガス漏れなど危険ではないか。電気ならそんな心配はなくてよいのでは。
- A ガスメータや安全装置が機能し、ガス漏れがあった場合は、地震の有無に限らず安全対策がされていると確認している。
- 意見 確かに安全装置はあるが、電気エアコンならガス漏れの心配は不要である。

市営住宅の管理と提供サービス

- Q 市営住宅のLPガス供給設備の修理はどこがやっているのか。
- A 市がLPガスボンベ設置施設の修理や配管の修理などは行っている。
- Q 市営住宅にLPガスを入れている業者の入札はあるのか。
- A 建設当時から同じLP供給業者である。
- 意見 LPガス供給業者はボンベを交換するだけで、ある程度の法定点検をしていると思うが、一般住宅より安くできるので一度値段を調べてほしい。

外国人住民への施策

- Q 外国人の人口はどうなっているか。
- A 令和元年10月末現在4,529人で人数の多い順から、フィリピン、中国、ベトナム、韓国、ブラジルとなつて5年前より595人増となっている。
- Q ベトナム人が増加、多くは技能実習生だ。技能実習生は多くは低賃金の単純労働者として働かされており、劣悪な労働条件、パワハラ、セクハラなどによって2018年は9,052人が失踪し、政府の調査でも、2012年から2017年に失踪した5,218人中、171人が死亡している。相談できる窓口は。
- A フィリピン語、ポルトガル語、英語に対応するスタッフを2人配置し、支援。
- Q 市役所の庁内窓口の多言語用の表示は。
- A 今年度中に課の名称を日本語と英語による案内表示の設置を検討している。
- Q 就学していない子どもの対策は。
- A 2度3度と家庭訪問を重ね、不就学の子どもはゼロになった。
- Q 生活保護は受けられるのか。
- A 国民と同様に該当すれば開始決定する。
- Q 無料定額診療病院についてはどうか。
- A 状況を聞きとった中で対応する。
- Q 災害時の対策については。
- A 防災パンフを5カ国語で作成配布など。

その他の賛成事項
・子どもの安全
・いじめ



行政視察

調査報告



松阪市議会では、年4回の定例会を中心に会期を設けています。専門別の委員会では、毎年8月に委員の選任が行われてから1年間を任期として、活動し、年間の調査テーマを決めて、【閉会中の継続審査として】本会議で承認を得ることによって、継続的に調査研究を行っています。

行政視察は、その一環で実施しているものです。

議会運営委員会

事業の評価と提言書、政策提言の取り組み

静岡県藤枝市 <1月23日>

決算審査において、全事業点検シートを基に事業評価をまとめ、次年度予算へ反映するための提言書を執行部に提出するという形式がとられている。議会全体での意見集約は課題としても、委員会機能の充実・強化と審査サイクルの確立は実践されるべきと思う。



▲静岡県藤枝市



▲長野県飯田市

長野県飯田市 <1月24日>

自治基本条例の検証に始まり、議会制度検討委員会・改革推進会議の常設設置など先駆的な取り組みがなされている。行政評価については、評価結果や提言の素案を全体会議にて協議し、共有化を図り議会からの政策提言につなげていくというプロセスは参考になる。



総務企画委員会

総合計画

岐阜県多治見市 〈1月15日〉

多治見市では、議会が策定過程に深く関わり、事業に対して全議員が提案を行う。また、市民も多様な市民参加で作成過程に関わる。これは画期的な策定方法である一方、画一された議会運営を強いられる側面もあった。比較することで参考になることが多かった。

シティプロモーション

埼玉県戸田市 〈1月17日〉

戸田市は平均年齢が40.8歳と若い。それはシティプロモーション戦略によって人口を呼び込むターゲットを絞り込み、明確なるセールス戦略を推進した結果である。目的に対していかに他の市町との違いを創り出すかが、まさに松阪市に求められることである。

環境福祉委員会

地域包括ケアシステムの語源は

広島県尾道市 〈1月15日〉

地域包括ケアシステムの語源は、公立みつき総合病院の前院長であることから、地域包括システムの課題である、シームレスなサービスを構築されていた。行政と医療介護の専門職、地域住民が、いかに継続した連携をしていくのかを学んできた。

エイジフレンドリーシティ 宝塚行動計画

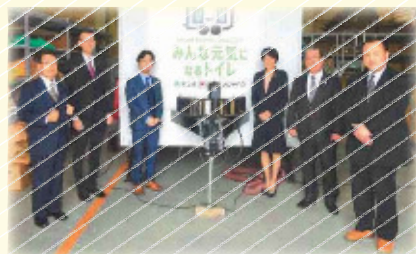
兵庫県宝塚市 〈1月17日〉

平均寿命と健康寿命の差を縮め、元気でいる時間を長く充実させていくための市民協働の施策集。地域の人々が考え、高齢の皆さんもお役立ちできる仕事（人手不足の介護職）を提案、実際に就労につながった事例も。そんな元気施策を垣間見た。

災害対策の取り組みと 復興事前準備

静岡県富士市 〈1月16日〉

富士市では南海トラフ巨大地震への危機感から、災害発生後も住み続けたいと思えるまちづくりを基本理念として、復興事前準備を推進している。また、防災倉庫内では、トイレトレーラーの実物を見学し、防災啓発を兼ねた導入として意義があることを学んだ。



▲静岡県富士市

東近江の三方よし

滋賀県東近江市 〈1月16日〉

東近江市では、様々な取り組みが重層的につながり、市民の安心感につながっている。「三方よし研究会」では、専門職だけでなく、一般市民も参加し「患者よし・機関よし・地域よし」を目指し、顔の見える関係づくり、それぞれの立場で何ができるか話し合われている。



▲広島県尾道市

文教経済委員会

公共交通の取り組みと今後の課題

長野県安曇野市 〈1月15日〉

長野県の安曇野市は平成17年に5町村が合併して新しく誕生した。合併を期にそれまでの各町村の公共交通をデマンド型交通に統一し、高齢者など交通弱者の移動手段として、通院や買い物に役立っている。市民の評価も高く公共交通の成功例であり視察は有意義であった。

岡崎市プログラミング教育について

愛知県岡崎市 〈1月17日〉

2019年度から岡崎市内全小学校で系統的に始まった「プログラミング学習」。全国的にも先進的な取り組みであることから、その学習内容やこれまでの取り組みを学んだ。小学1年生～6年生まで、教科の中に「プログラミング教育」を24単元取り入れている。

武田氏館跡の整備と 活用について

山梨県甲府市 〈1月16日〉

武田氏館跡の復元整備を行うため、周辺地域の自然環境や景観の保全、開発や破壊に制限をかけ、土地の買い上げ等も進めている。史跡武田氏館跡や付帯設備の整備を積極的に進め、新たに開館した歴史館や民間との協力した事業等を行っている。



▲愛知県岡崎市

建設水道委員会

歴史的風致維持向上計画

広島県竹原市 〈1月15日〉

歴史的風致を維持・向上させるための計画により、重点区域において歴史的建造物の前面にある建物の撤去、歴史的景観に酔いしれる公園の設置、連続性のある町並みの復活、魅力を創り出すライトアップなどを実施されたことで地区への観光客数等が増加している。

空き家対策事業

福岡県宗像市 〈1月17日〉

空き家に対する課題の解決を図る団体「住マイむなかた」設立に市が大きく関与され、業務を委託し協働しながら事業を進められている。また、相続財産管理制度を活用し略式代執行による空き家解体を2物件、空き家のままで売却済みが2物件と対処されている。

門司港レトロ地区の 良好な景観形成

福岡県北九州市 〈1月16日〉

門司港駅が重要文化財の指定を受けたことで景観推進事業が計画され、平成13年には全国初の景観を越えた同一名称、同一条文の関門景観条例が制定されている。特に色彩に重点を置き、お互いの都市や船から見た景観に配慮した景観形成に取り組まれている。



▲広島県竹原市

広報広聴委員会

市議会における 広報広聴機能の取り組み

滋賀県彦根市 〈1月28日〉

議会改革の取り組みとして、平成24年に「議会に関する市民アンケート」を実施し、市議24人全員が8人ずつ3つの組織に分かれて広報広聴機能を発揮できるように活動している。議場開放促進委員会・広報委員会・広聴委員会がそれぞれ連携しながらも、独自の市民参加型の活動を通して市民の意見を聴いている。



▲兵庫県丹波市

兵庫県丹波市 〈1月29日〉

丹波市議会の議会だより（たんぱりんぐ）は、読者層を広げるため、ターゲットを30代から40代の子育て世代の女性に設定し、育メンパパ、子ども世代、親世代への広がりを期待している。また高齢者にも読みやすいよう文字サイズなどに配慮しながら、読者目線を重視している。



▲滋賀県彦根市

言うてんか! 聞いてんか!

第14回 議会報告会

第13回に引き続き、委員会単位で第14回議会報告会を開催します。委員会ごとに設定したテーマについて、市議会議員と語りませんか。



▲第13回議会報告会の様子（福野地域振興局）

赤ちゃんも参加してました!



▲第13回議会報告会の様子（松阪公民館）

松阪市議会 第14回議会報告会

第1部 議会報告 2月定例会で審議した内容を報告します。(約30分)
第2部 意見交換 「常任委員会で決定したテーマ」について市議会議員と共に語りませんか。(約1時間)

建設水道委員会 とき 4月14日(火) 午後7時から午後9時 ところ 三雲公民館(倉庫町) 第2部 テーマ 空も雲対策に力めて	総務企画委員会 とき 4月15日(水) 午後10時から正午 ところ 松阪公民館(船江町) 第2部 テーマ 市役所って利用しやすいですか
環境福祉委員会 とき 4月18日(土) 午後1時から午後3時半 ところ 飯南産業文化センター(飯南町) 第2部 テーマ 人生100年。〜地域で暮らしを応援しよう〜	文教経済委員会 とき 4月19日(日) 午後2時から午後4時 ところ 竹園会館2F会議室(7-11前-6番111号) 第2部 テーマ 松阪にええもんあそびやも〜〜を応援しよう

全庁職員・住民の協力を得て、各委員会委員の夕暮時間等での下校後ご挨拶ください。お昼への子ども帰りに対応できるように配慮いたします。また、お昼の時間帯は、お昼からお昼前までお昼休みです。

松阪市議会（議会事務局） 住209-0010-1010 090-9090-0200 090-9090-0200 090-9090-0200

みてんか

まつさか市議会だより

マジメで面白くない報告ですが...

みてんかは次号で6年目！
乞うご期待!!

これまでみてんかの表紙を飾ったイラストです。
令和時代も松阪市議会の情報を、皆さんにお届けします!



平成27年6月1日発行の市議会だより55号からリニューアルしてはや5年。松阪工業高校繊維デザイン科の皆さんからいただいた数々の作品がその表紙を飾りました。
表紙以外は「マジメで面白くない報告」ではありますが皆さんに少しでも議会を身近に感じ、ご一読いただければ幸いです。



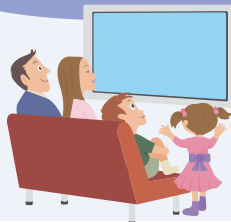
2月定例会は、2月10日から3月24日の会期37日間で開催しています。3月は補正予算が上程され、当初予算と共に各常任委員会に付託され、審議されます。是非、本会議、委員会ともに傍聴にお越しください。

[3月分]

令和2年2月定例会の開催日程 37日間

日	月	火	水	木	金	土
3月1日	2 本会議 (代表質問)	3	4	5 本会議 (代表質問) (補正上程)	6	7
8	9 本会議 (代表質問)	10 本会議 (議案質疑)	11 委員会 (環境福祉) (文教経済)	12 委員会 (総務企画) (建設水道)	13 委員会 (予備日)	14
15	16 委員会 (予備日)	17	18	19	20	21
22	23	24 本会議 (当初・ 補正議決)	25	26	27	28

議会中継のご案内



123ch

ケーブルテレビ

※録画放送は、会議の日の約1週間後から視聴できます。

松阪市ホームページ

松阪市議会



定例会の一般質問や、本会議の様子は、行政チャンネル（ケーブルテレビ123ch）やインターネット（松阪市議会本会議中継）生中継の他、録画でも放送しています。

詳しくは、市ホームページ「松阪市議会のページ」をご覧ください。

表紙



今号の表紙は松阪工業高校繊維デザイン科の1年生中井琴美さんの「旅立ちの季節」。

卒業シーズンということで、笑顔で卒業を迎える女の子を描きました。

編集後記

松阪市議会だより「みてんか」第79号をお届けいたします。この度も、「みてんか」の表紙は引き続き、松阪工業高校の漫画研究部の皆さんの作品を採用させていただきました。マンネリ化しないように生徒の皆さんと事前打ち合わせをさせていただいた事で、素晴らしい作品ができました。

表紙を決定するのに、委員会でも意見が分かれ、惜しくも表紙採用に漏れた生徒の作品も、「みてんか」の各ページへ採用させていただきました。また、広報広聴委員会では、1月に先進地視察を行い、議会だよりの構成や、議会報告会の取り組みについて学び、大変参考となる視察となりました。

次回からの「みてんか」も、どうぞご期待ください。

広報広聴委員会 委員長 堀端 脩

広報広聴委員



《左から》

楠谷さゆり、松本一孝
殿村峰代、赤塚かおり
田中正浩、山本節
松岡恒雄(副委員長)
堀端脩(委員長)
大平勇

● お問い合わせ
松阪市議会事務局

● 発行 / 松阪市議会 ● 編集 / 広報広聴委員会
〒515-8515 三重県松阪市殿町1340 番地1

Eメール gikai@city.matsusaka.nie.jp
電話 0598-53-4433 F A X 0598-23-3962

